

ライフエンジニアリングコース 2021 年度

「ライフエンジニアリング特別講義第一」

開講クォーター：2021 3Q

単位：1-0-0

科目コード：HCB.C451

授業形式：Zoom

日程：10/8、10/22、10/29、11/5、11/12、11/19

時限：3-4時限

授業担当教員：

石崎 博基 (LG 協同研究拠点 特任教授)

西村 涼 (ENEOS 共同研究講座 特任教授)

市林 拓 (ENEOS 共同研究講座 特任准教授)

講義の概要とねらい：

企業から本学に出向中の特任教員を講師に迎え、企業における研究開発から開発した商品の事業化までの事例を講演いただく。研究を事業収益につなげるまでに立ちほだかる、ビジネスモデルの構築やグレード戦略といったビジネス課題を実体験も交えて紹介いただく。講義を通じて、学生がより広い視野から現在取り組んでいる研究や将来のキャリアパスを見つめ直す機会を提供し、キャリア設定の支援を行う。また、学生が議論に積極的に参加できる機会を設けることにより、コミュニケーションの大切を実感してもらうと共に、疑問点を的確に表現できる質問力を養ってもらう。

到達目標：

企業と大学で研究開発に対する価値観に共通する部分／異なる部分があることの学びを通じて、幅広く世間を観察して自分自身の将来設計に役立てる能力を養うこと。自分とは異なる視座からの考え方や意見があった場合に、自分の経験だけにに基づく価値観に固執せず、保守的にならないような柔軟性、先取性を養うこと。異なる立場や考え方とのコミュニケーションがキャリア開発において重要であることを理解すること。

授業の進め方：

各回前半に講師から講義、事例紹介を行い、後半は質疑応答を通じて設定された課題に取り組む

第1回 (10/8、3&4 時限) :

太陽電池技術の光と影ー世界最高の日本の技術はなぜ敗れ去ったのか？

(石崎 博基 特任教授)

第2回 (10/22、3&4 時限) :

太陽光発電技術とスマートグリッドへの展開ー日本企業のさらなる挑戦

(石崎 博基 特任教授)

第3回 (10/29、3&4 時限) :

産学連携による製品化事例とビジネスモデル (1) 技術が優れていれば事業として成功するか？ビジネスモデルの類型を知ろう

(西村 涼 特任教授&市林 拓 特任准教授)

第4回 (11/5、3&4 時限) :

産学連携による製品化事例とビジネスモデル (2) 新エネルギー分野での事業化事例、メンバーの多様性と成果のブレ幅の関係

(西村 涼 特任教授&市林 拓 特任准教授)

第5回 (11/12、3&4 時限) :

産学連携による製品化事例とビジネスモデル (3) 既存市場がない技術はどうやって製品にするか？「自分の研究を売り込む」ために有効なビジネスモデルは？

(西村 涼 特任教授&市林 拓 特任准教授)

第6回 (11/19、3&4 時限) :

日本の国際競争力について考えよう！日本の国としてのビジネスモデルは？日本の将来は明るい？暗い？

(西村 涼 特任教授&市林 拓 特任准教授)